別紙3　点検表記録様式　　様式1（その1）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 18′ 52″
				経度	133° 54′ 54″
第1栗祖橋 (フリガナ)ダイイチクリソハシ	栗祖本線	鳥取県東伯郡三朝町木地山			

管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
三朝町	2016.9.6	加谷川	有	一般道	その他	

部材単位の診断（各部材毎に最悪値を記入）

点検者	西谷技術コンサルタント㈱	点検責任者	梅村　亮

点検時に記録					措置後に記録		
部材名		判定区分 （Ⅰ～Ⅳ）	変状の種類 （Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等が分かるように記載）	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版	Ⅲ	ひびわれ、錆汁	写真1　床版01			
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真2　橋台01,02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅲ	ひびわれ	写真3,4　路面,地覆			

道路橋毎の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

点検時に記録		措置後に記録	
（判定区分）	（所見等）	（再判定区分）	（再判定実施年月日）
Ⅲ	床版にASRによる2㎜以上のひびわれから錆汁,遊離石灰が観られる。鉄筋破断による耐荷性能の低下が懸念されるため、対策が必要である。		

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次	橋長	幅員
不明	8m	7.50m

←起点側

終点側→

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（床版）【判定区分：　Ⅲ　】	下部構造（橋台）【判定区分：　Ⅱ　】
写真1　ひびわれ、錆汁 床版01	写真2　ひびわれ 橋台01　　橋台02
その他(路面)【判定区分：　Ⅱ　】	**その他(地覆)【判定区分：　Ⅲ　】**
写真3　ひびわれ 路面	写真4　ひびわれ 地　覆 ひびわれ幅,密度が大きく、防護機能の低下が懸念される。